

令和4年度

環境経営レポート

～ 未来のこどもたちのために ～



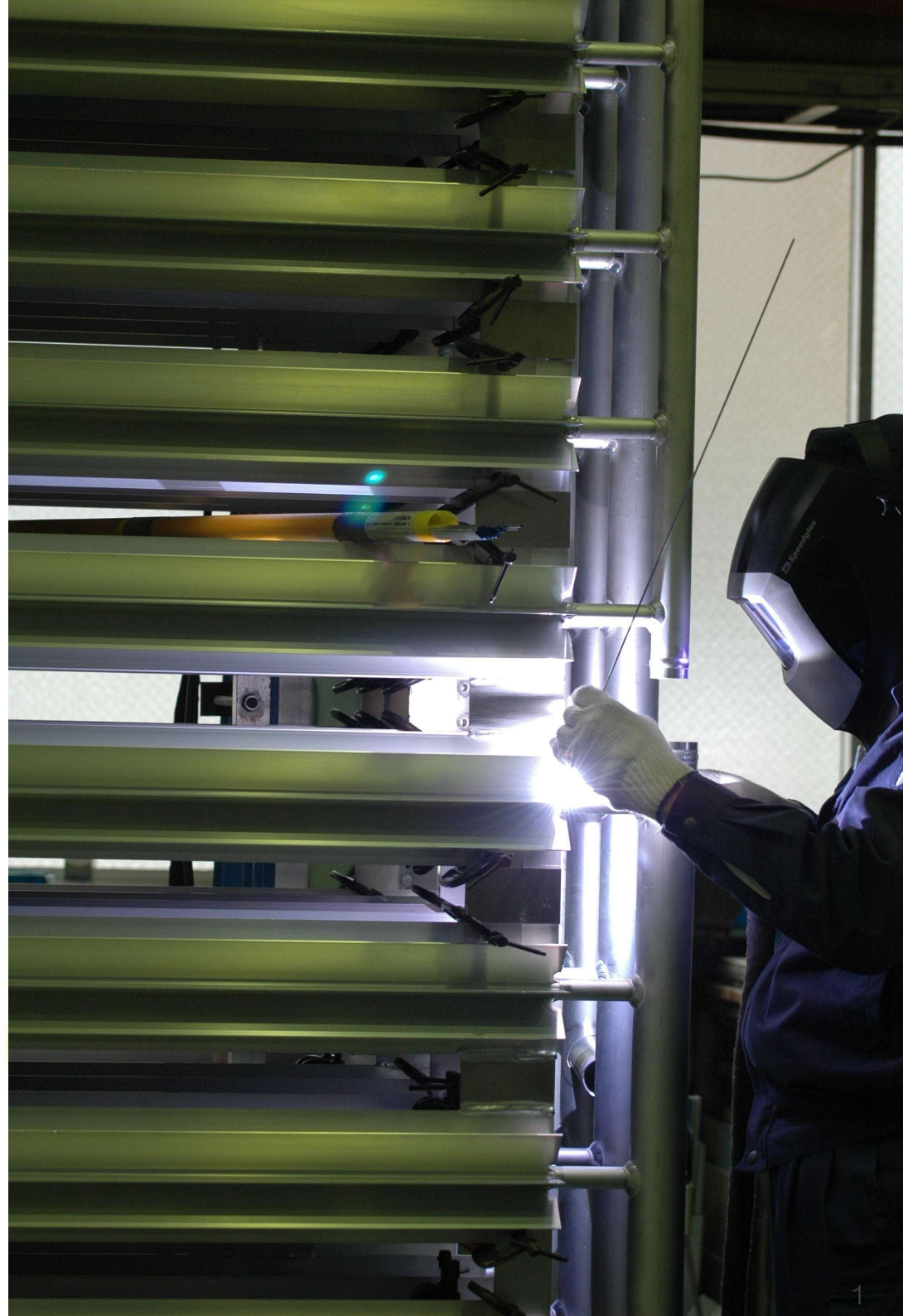
活動期間：令和4年10月～令和5年9月
作成日：令和6年10月8日

株式会社 坂口製作所

～優秀板金製品技能フェアグランプリ受賞作品：双曲面～



会社概要、主要製品の紹介	P2
環境経営理念、環境経営方針	P3
SDGsの進め方、実施体制図	P4
令和3年度総括と今後3カ年の目標設定	P5
環境経営計画の取組結果とその評価	P6
活動期間中にいただいた環境関連の各種表彰	P15
健康経営優良法人への取り組み	P16
社員教育の実施	P17
地域貢献	P18
社外への情報発信	P23
環境関連法規制等の取りまとめ	P25
代表者による全体の評価の見直し・指示	P26



会社概要

●事業者名：株式会社 坂口製作所

●代表者名：代表取締役 坂口清信

●所在地

本社

〒557-0054

大阪府大阪市西成区千本中2丁目4番14号 従業員数：14名

和歌山工場

〒643-0521

和歌山県有田郡有田川町清水877番地の1 従業員数：86名



本社



和歌山工場

●事業年度：10月～9月

●事業規模：製品出荷額 11億円/年

●事業内容：工業用各種アルミ・ステンレス製品の設計、開発、製造、加工及び販売

●主要製品：鉄道車輛部品、信号器具箱、工業用各種トレー、空調関連機器 等

●HP URL：<https://sakaguchi-ss.co.jp/>

主要製品紹介



＜ 鉄道車輛関係 ＞



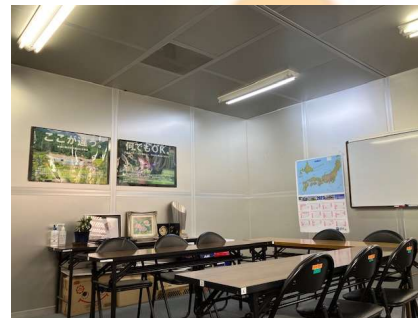
＜ 食品工業用・製薬用トレー ＞



＜ 投票箱 ＞



＜ 信号器具箱 ＞



＜ 会議室 ＞



＜ 喫煙ブース ＞

※HPにオリジナル製品を閲覧出来るページを作成しました。
HPからオリジナル製品を購入することができるので、是非見てみてください。

POINT!
会議室と喫煙ブース
(ともに和歌山工場)
は
クリーンブー
スの製造技術
を
応用しています

環 境 経 営 理 念

当社は工業用各種アルミ・ステンレス製品の設計・製造・加工・販売を行っている会社です。アルミ、ステンレスはいずれも高い耐食性とリサイクル性を有する素材であり、また軽量のアルミは省エネ効果も期待できます。つまり、アルミ・ステンレスは循環型社会、低炭素社会を実現するうえで無くてはならない素材であり、鉄道車輛、製薬、エネルギー等あらゆる産業分野において今後その需要が益々拡大していくことは間違いありません。これら社会の要請に応え、同素材からなる製品の普及・発展に寄与し、もって持続可能な社会の実現に貢献することは、アルミ・ステンレス加工のプロたる当社の責務であると考えます。

この責務を果たすには、当然ながら当社自身が維持・発展していくことが不可欠です。一方、当社が生産活動を進めていく上で、電力等のエネルギーの消費、廃棄物の発生を避けて通ることはできません。したがって、当社は、売上拡大を目指しつつも同時に生産効率の向上と品質管理の徹底によるエネルギー使用量の原単価を下げ、廃棄物の発生量を極限まで低減する必要があります。

以上のことから当社は、以下の項目を重点課題ととらえ、全社一丸となってこれからの課題を高いレベルでクリアしつつ、更なるレベルアップを継続的に推進することを、ここに宣言します。

環 境 経 営 方 針

1. 環境法規制や当社が同意するその他の要求事項を遵守します。
2. 単位売上あたりの電力・化石燃料使用量を低減し、二酸化炭素排出量の削減を進めます。
3. 一般及び産業廃棄物の削減を進めます。
4. 排水量の削減を進めます。
5. 地域ボランティア活動への協力等を通じて、地域社会とともに環境保全に取り組みます。
6. グリーン購入を計画的に進めます。
7. 化学物質については法令を遵守し、適性に管理します。
8. 製品への環境配慮を進めます。

制定日：平成22年11月4日
改定日：平成30年9月29日
代表取締役：坂口 清信



SDGsの進め方

弊社は2011年にエコアクション21の認証を受けました。以降、環境に関する取り組みを継続しており、下記の表彰を受けています。

- ・環境コミュニケーション大賞 優良賞（2017年、2019年、2021年）
- ・わかやま環境賞（2021年 特別賞）
- ・環境人づくり企業大賞（2021年 環境大臣賞）
- ・エコアクション21 オブザイヤー2022
ソーシャル部門銀賞（2022年）



また、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する「健康経営優良法人」の認定も取得しています。

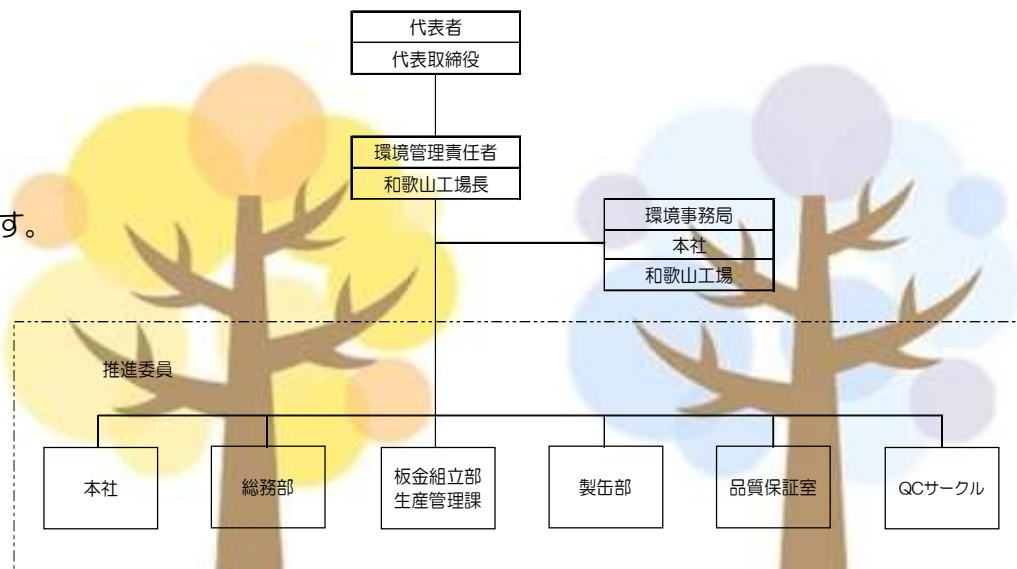
特に2021年には健康経営優良法人認定企業（大企業部門を除く）のうちで優良な上位500社に与えられる「ブライト500」にも選ばれました。

私たちは、これらエコアクション21、健康経営優良法人の取り組みとリンクさせる形でSDGsへの取り組みを進めています。



実施体制図

- 弊社は、推進委員会を設け、全社員一体となってエコアクション活動を進めています。
- 各部門の部門長は、定例会議（製販会議、工程会議、安全衛生委員会）においてエコアクション活動の進捗を確認しています。
- 各QCサークルのリーダーは、自サークル及びリーダー会でエコアクション活動を推進しています。



令和3年度総括と今後3カ年の目標設定

●環境経営目標及びその実績

○前年(令和3年度)は管理項目全12項目のうち6項目で目標達成出来ませんでした。新型コロナウイルス感染症や世界情勢の不安定な状況が少なからず影響したと考え、今年度は達成出来なかった7項目の目標値を据え置き、全項目での目標達成を目指して活動して参りました。新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられ以前のような日常が早く取り戻せるよう祈ります。しかし、気候変動による地球環境の変化は自然の猛威として私たちに知らせています。これからの地球を守るための私達の活動を報告させていただきます。

項目		年度	基準年度 (令和元年度) 実績	令和4年度		令和5年度 目標	令和6年度 目標
				目標	実績		
二酸化炭素排出量削減	電力使用量の削減 (kWh/百万円)		531.9	505.8	522.5	500.6	495.2
		絶対量 (kWh)	544,695	504,109	506,917	498,396	492,949
		基準年度比	100%	-4.9%	-1.8%	-5.9%	-6.9%
		① kg-CO ₂	173,213	160,307	161,200	158,490	156,758
	化石燃料の削減	○ガソリンの使用量削減 (L)	10,397	8,471	8,749	8,366	8,262
		基準年度比	100%	-18.5%	-15.9%	-19.5%	-20.5%
		② kg-CO ₂	24,139	19,667	20,312	19,424	19,182
		○軽油の使用量削減 (L)	2,106	1,661	1,357	1,640	1,619
		基準年度比	100%	-21.1%	-35.6%	-22.1%	-23.1%
		③ kg-CO ₂	5,526	4,360	3,560	4,306	4,249
		○灯油の使用量削減 (L/日)	236.8	213.5	198.5	211.2	208.9
		絶対量 (L)	20,606	19,843	17,683	19,637	19,431
		基準年度比	100%	-9.8%	-16.2%	-10.8%	-11.8%
		④ kg-CO ₂	51,347	49,448	44,064	48,934	48,421
		①+②+③+④ kg-CO ₂	254,225	233,782	229,136	231,154	228,610
		基準年度比	100%	-8.0%	-9.7%	-9.1%	-10.1%
排水量の削減	○水道水の使用量削減 (m ³)		841	731	745	722	714
		基準年度比	100%	-13.1%	-11.4%	-14.1%	-15.1%
化学物質の削減	○化学物質の使用量削減 (kg)		275.2	181.6	238.5	178.9	176.1
		基準年度比	100%	-34.0%	-13.3%	-35.0%	-36.0%

💡各項目の評価基準について💡

- 電力使用量は本社及び和歌山工場の使用量を合計し、売上百万円あたりで評価します。
- ガソリン使用量は本社及び和歌山工場の使用量を合計し、軽油の使用量は和歌山工場の使用量をそれぞれ絶対量で評価します。
- 灯油の使用量は、和歌山工場の12月から3月まで4ヶ月間の使用量を同4ヶ月間の就業日数あたりの使用量で評価します。年間使用量は通年の使用量とします。
- 二酸化炭素排出量は、下記排出係数にて各項目の絶対量を計算し評価します。
 - ・電力の二酸化炭素排出係数は、関西電力様2019年度調整後排出係数0.318kg-CO₂/kWhを使用し算出します。
 - ・ガソリンの排出係数は、絶対量(L)×0.0671(kg-CO₂/MJ)×34.6(MJ/L)で算出します。
 - ・軽油の排出係数は、絶対量(L)×0.0687(kg-CO₂/MJ)×38.2(MJ/L)で算出します。
 - ・灯油の排出係数は、絶対量(L)×0.0679(kg-CO₂/MJ)×36.7(MJ/L)で算出します。
- 水道水は、本社及び和歌山工場で使用量を合計し絶対量で評価します。
- 化学物質は、和歌山工場で使用している油脂洗浄剤に含まれるトルエンの使用量を指し、絶対量で評価します。
- 売上百万円あたり及び就業日数で評価する各項目の年間使用量は、通年の使用量とします。

★循環型社会の実現に向けて

項目		年度	基準年度 (令和元年度) 実績	令和4年度		令和5年度 目標	令和6年度 目標
				目標	実績		
製品への環境配慮の推進	○梱包資材の購入量削減 (kg/百万円)		1.35	1.04	1.03	1.03	1.01
		絶対量 (kg)	1,385	1,028	998	1,014	1,000
		基準年度比	100%	-23.0%	-23.7%	-24.0%	-25.0%
廃棄物の削減	○可燃ごみの排出量削減 (kg)		1,479	1,464	4,255	1,449	1,435
		基準年度比	100%	-1.0%	+187.7%	-2.0%	-3.0%
	○混合廃棄物の排出量削減 (m ³)		7.5	5.1	3.3	5.0	4.9
		基準年度比	100%	-32.7%	-56.0%	-33.7%	-34.7%
	○廃プラスチックの排出量削減 (%)		61.3	71.0	74.9	71.6	72.2
		絶対量：排出量 (kg)	770	—	420	—	—
		絶対量：回収量 (kg)	1221	—	1253	—	—
		基準年度比	100%	+15.8%	+22.2%	+16.8%	+17.8%
剰余材の有効利用	○再加工材料費の削減 (金額指標)		100	40.1	99.5	40.1	40.1
		基準年度比	100%	-59.9%	-0.5%	-59.9%	-59.9%

💡各項目の評価基準について💡

- 梱包資材購入量とは、和歌山工場において梱包時に使用するエアークラップやストレッチフィルムの購入量を指し、売上百万円あたりで評価します。年間購入量は、通年の購入量とします。
- 可燃ごみとは、和歌山工場では一般的な燃えるごみ、本社では業者に回収されているシュレッダーくずを含まない一般的な燃えるごみを指し、それぞれ合計し絶対量で評価します。
- 混合廃棄物とは、和歌山工場から排出され安定型最終処分場で埋立処分される産業廃棄物を指します。
- 廃プラスチックとは、和歌山工場から排出される廃プラスチック排出量に対するリサイクル量(回収量)の比率を再利用率として評価し、年間排出量及び回収量は、通年の量とします。
- 再加工材料費とは、本来なら必要としない再加工による材料費を指します。評価方法は、環境経営計画書では金額で評価していますが、環境経営レポートは基準年度比の金額指標としています。

以上のように3ヶ年計画を策定しました。

弊社では、本社と和歌山工場における業務内容や設備の違いからそれぞれの目標を設定し活動しています。
次ページより、各項目における本社の活動成果、和歌山工場の活動成果から事業所全体の活動成果をそれぞれグラフ化し評価します。最終結果が目標達成できなかった場合は、原因を究明・把握し次年度以降の計画を見直します。

令和3年度環境経営計画の取組結果とその成果

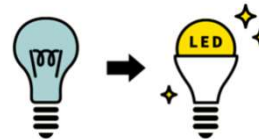
●電力の使用量削減



💡 評価基準：売上百万円あたりの使用量 (kWh/百万円)

★環境活動計画（本社・和歌山工場共通）

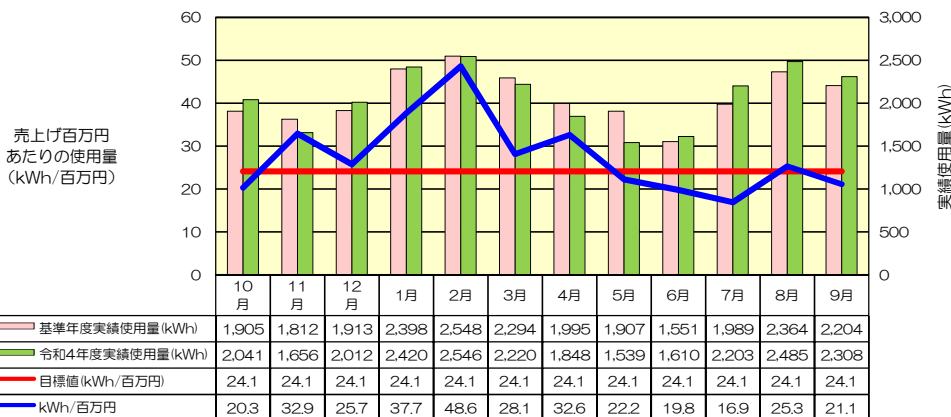
1. 西日対策による夏期冷房温度の抑制
2. 空調温度の最適化推進
3. エリア別照明店頭及び場内照明の間引き点灯推進
4. 未使用パソコンの電源OFF徹底



●本社の活動結果

今年度目標 🍷 : 24.1 → 今年度実績 🍷 : **25.7** 結果 🍷 : **+6.6%** 目標未達成
※今年度の累積使用量目標 : 24,631 → 今年度実績 : 24,888 結果 : +1.0%

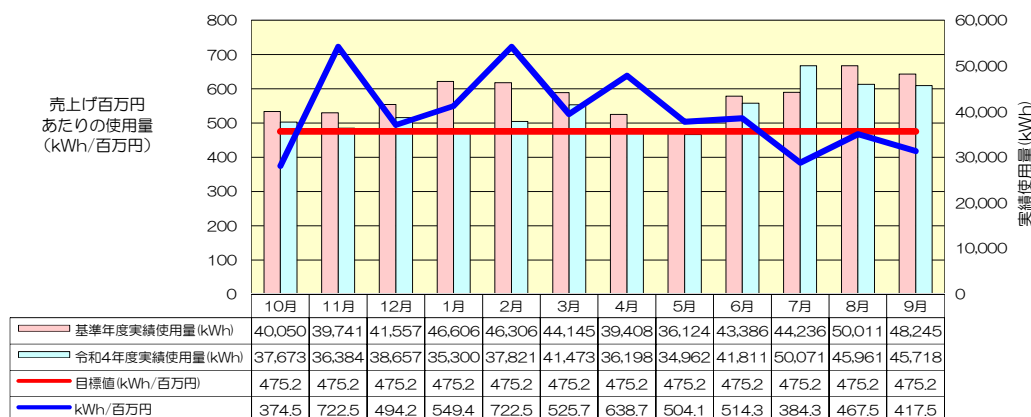
本社の各月の実績使用量と売上百万円あたりの使用量



●和歌山工場の活動結果

今年度目標 🍷 : 475.2 → 今年度実績 🍷 : **496.9** 結果 🍷 : **+4.6%** 目標未達成
※今年度の累積使用量目標 : 474,071 → 今年度実績 : 482,029 結果 : +1.7%

和歌山工場の各月の実績使用量と売上百万円あたりの使用量

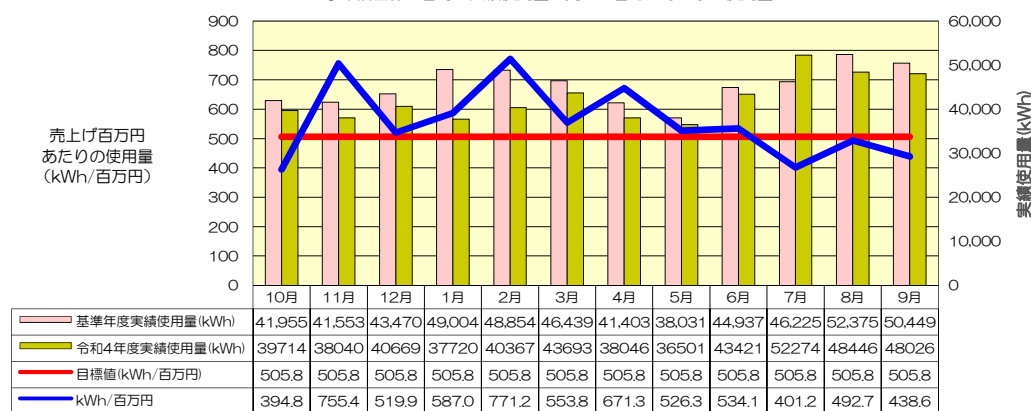


●事業所全体の活動結果

今年度目標 🍷 : 505.8 → 今年度実績 🍷 : **522.5** 結果 🍷 : **+3.3%** 目標未達成
※今年度の累積使用量目標 : 504,109 → 今年度実績 : 506,917 結果 : +0.6%

今年度は3か年計画の3年目にあたります。今年度の実績使用量は、目標値に対し本社は+1.0%、和歌山工場は+1.7%、事業所全体でも+0.6%と増加しましたが最小限に抑えられたと思います。この値を、売上百万円あたりの使用量は目標値に対し本社は+6.6%、和歌山工場で+4.6%、事業所全体でも+3.3%と増加幅が大きくなっています。売上百万円あたりの使用量を削減させるためには売上確保が必要であることが分かりました。

事業所全体の各月の実績使用量と売上百万円あたりの使用量



令和3年度環境経営計画の取組結果とその成果

●ガソリンの使用量削減

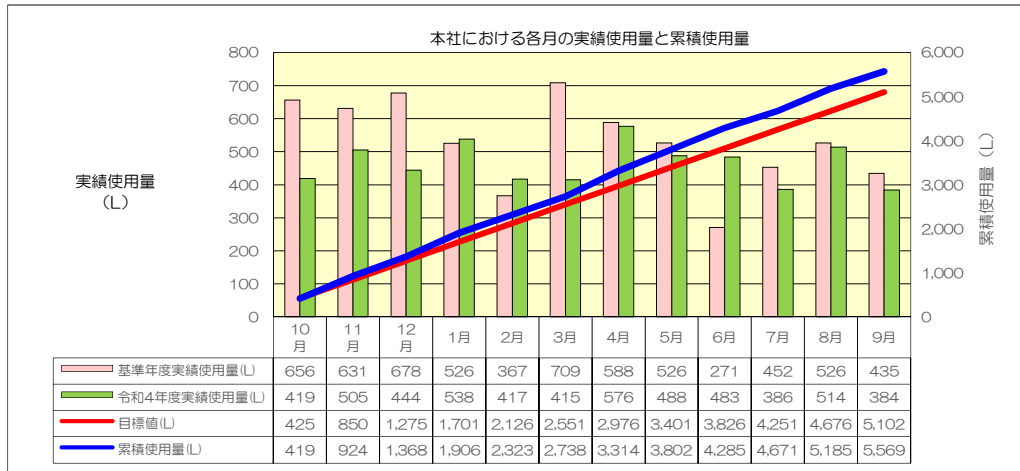


- 💡 評価基準：売上百万円あたりの使用量 (kWh/百万円)
 ★環境活動計画（本社・和歌山工場共通）
1. エコドライブの推進
 2. 外出時、可能な範囲での乗合せ
 3. 公共交通機関の利用促進



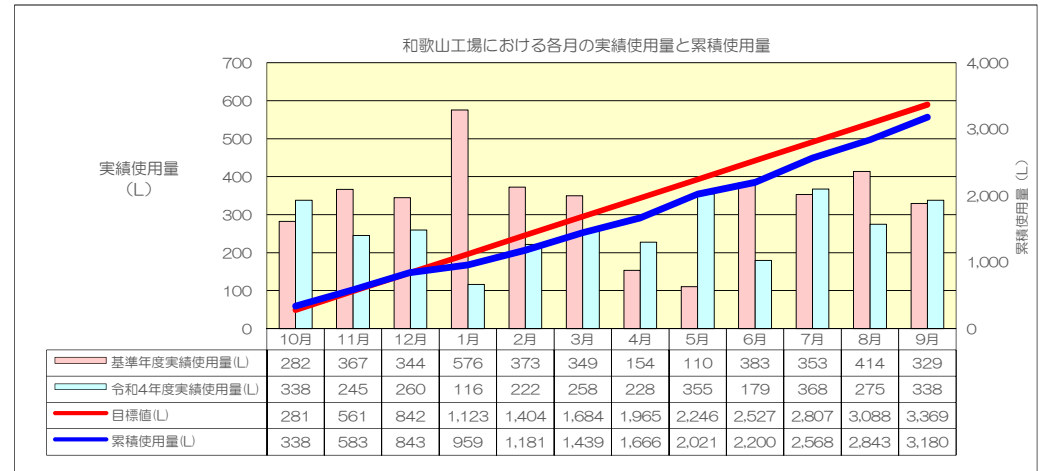
●本社の活動結果

今年度目標 🍷 : 5,102 → 今年度実績 🍷 : **5,569** 結果 🍷 : **+9.2%** 目標未達成 ☁️🌧️



●和歌山工場の活動結果

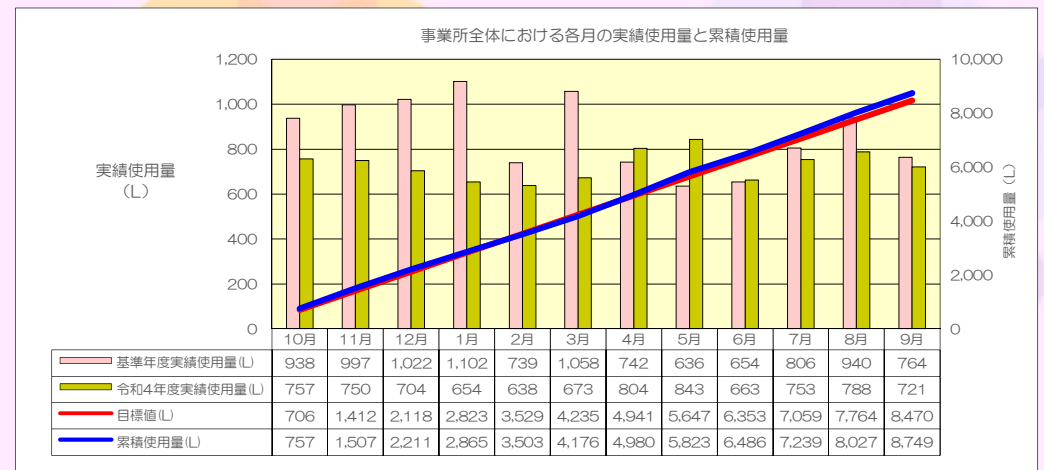
今年度目標 🍷 : 3,369 → 今年度実績 🍷 : **3,180** 結果 🍷 : **-5.6%** 目標達成! ☀️



●事業所全体の活動結果

今年度目標 🍷 : 8,471 → 今年度実績 🍷 : **8,749** 結果 🍷 : **+3.3%** 目標未達成 ☁️🌧️

新型コロナウイルスが2023年5月に5類に引き下げられ、お客様への訪問機会が徐々に再開されたため本社での営業活動も活発になり、本社の使用量は目標値に対し+9.2%と増加しました。和歌山工場の使用量は、目標値に対し-5.6%と削減出来ていました。事業所全体としての使用量は、目標値に対し+3.3%と増加しており目標未達成となりました。



令和3年度環境経営計画の取組結果とその成果

●軽油の使用量削減

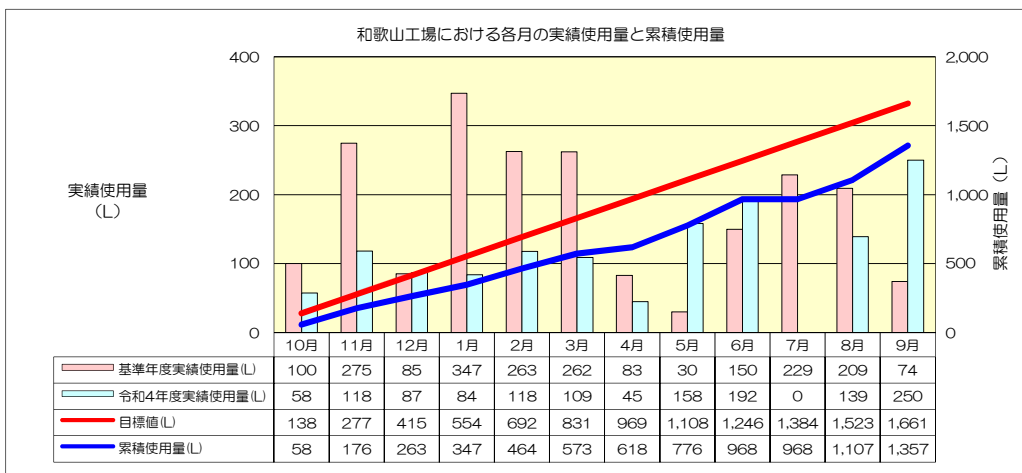


- 💡 評価基準：実績使用量（L）
★環境活動計画（和歌山工場のみ）
1. エコドライブの推進



和歌山工場の活動結果

今年度目標 🍷 : 1,661 → 今年度実績 🍷 : **1,107** 結果 🍷 : **-33.4%** 目標達成!



和歌山工場では、産業廃棄物（混合廃棄物及び可燃ごみ）を地域の処理業者まで搬入する際に、社用車を使用しています。また、出張現場工事の際も使用しますが、新型コロナウイルスのためその機会も減っています。今年度の累積使用量は、目標値に対し-33.4%と大幅に削減することができ目標達成できました。

●灯油の使用量削減

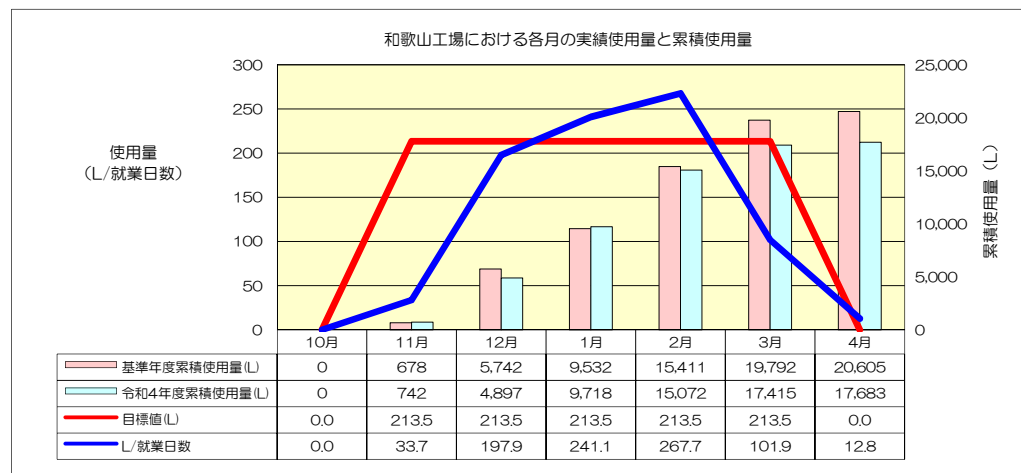


- 💡 評価基準：実績使用量（L/日）
★環境活動計画（和歌山工場のみ）
1. 石油ストーブの使用基準の徹底



和歌山工場の活動結果

今年度目標 🍷 : 213.5 → 今年度実績 🍷 : **198.5** 結果 🍷 : **-7.0%** 目標達成!
※今年度の累積使用量目標 : 19,843 → 今年度実績 : 17,683 結果 : **-10.9%**



灯油は、和歌山工場で冬期の暖房機器の燃料として使用しているので冬期の温度にも左右されます。暖房機器の使用開始日は例年11月下旬ですが、仕事量の関係で11月中旬に残業が発生した場合、作業環境を良くする目的で残業時間中のみ暖房機器の使用を許可する場合があります。今年度は、春の訪れが早かったため暖房機器を断続的に使用することができ、累積使用量は目標値に対し-10.9%も削減出来ました。評価基準の12月から3月の就業日数あたりの使用量は、今年度の目標値に対して-7.0%も削減でき目標達成出来ました。

令和3年度環境経営計画の取組結果とその成果

●二酸化炭素の排出量削減



- 💡 評価基準：実績使用量 (kg-CO₂)
- ★環境活動計画（本社・和歌山工場共通）
1. 電力使用量の削減
 2. 化石燃料の使用量を削減

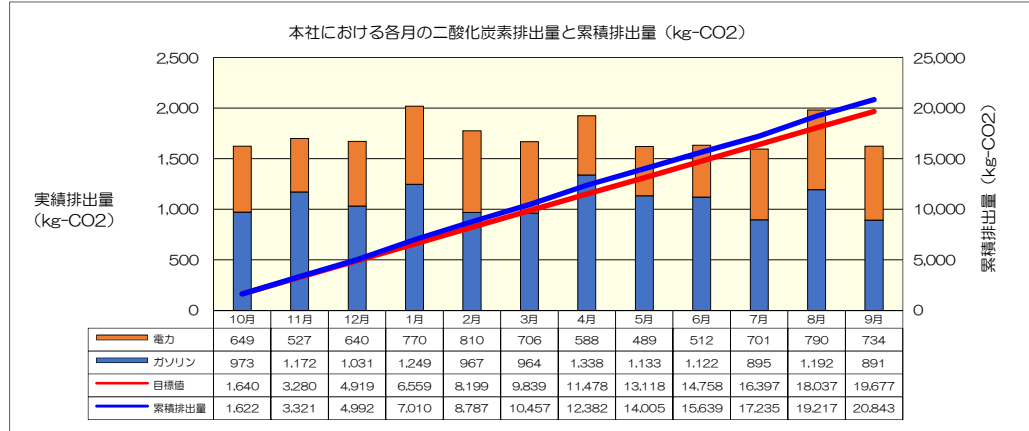
☀️ 本社の活動結果 ☀️

今年度目標 🍷 : 19,677 → 今年度実績 🍷 : **20,843** 結果 🍷 : **+5.9%** **目標未達成** ☁️🌧️

※各項目の目標値に対する二酸化炭素排出量

電気使用量目標 : 7,833 → 今年度実績 : 7,914 結果 : **+1.0%**

ガソリン使用量目標 : 11,844 → 今年度実績 : 12,928 結果 : **+9.2%**



☀️ 和歌山工場の活動結果 ☀️

今年度目標 🍷 : 212,387 → 今年度実績 🍷 : **208,293** 結果 🍷 : **-1.9%** **目標達成!** ☀️

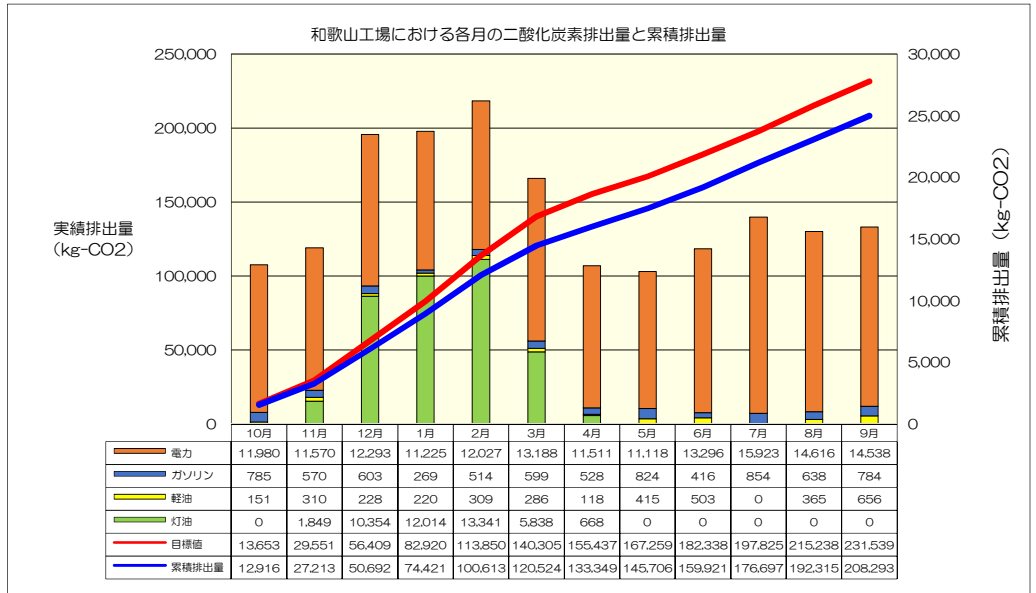
※各項目の目標値に対する二酸化炭素排出量

電気使用量目標 : 150,755 → 今年度実績 : 153,285 結果 : **+1.7%**

ガソリン使用量目標 : 7,821 → 今年度実績 : 7,383 結果 : **-5.6%**

軽油使用量目標 : 4,360 → 今年度実績 : 3,560 結果 : **-18.3%**

灯油使用量目標 : 49,448 → 今年度実績 : 44,064 結果 : **-10.9%**



☀️ 事業所全体の活動結果 ☀️

今年度目標 🍷 : 233,781 → 今年度実績 🍷 : **229,136** 結果 🍷 : **-2.0%** **目標達成!** ☀️

※各項目の目標値に対する二酸化炭素排出量

電気使用量目標 : 160,307 → 今年度実績 : 161,200 結果 : **+0.5%**

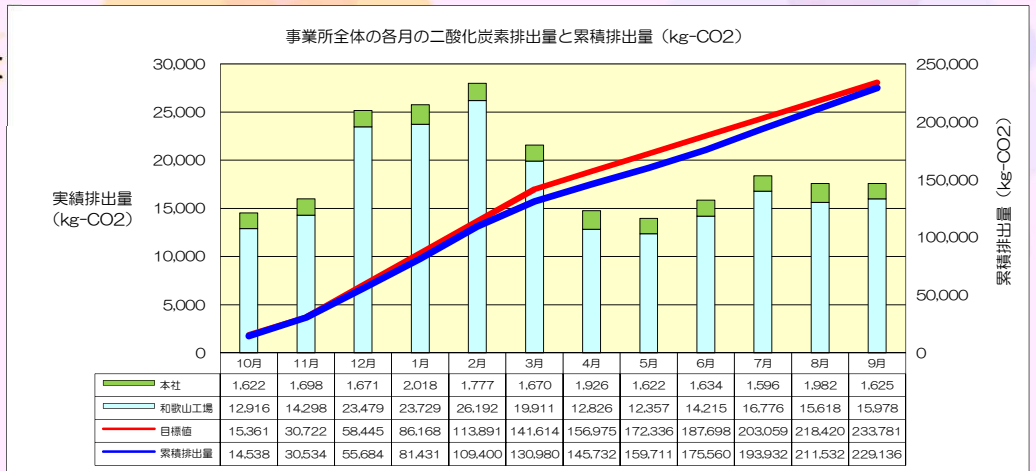
ガソリン使用量目標 : 19,667 → 今年度実績 : 20,312 結果 : **+3.3%**

軽油使用量目標 : 4,360 → 今年度実績 : 3,560 結果 : **-18.3%**

灯油使用量目標 : 49,448 → 今年度実績 : 44,064 結果 : **-10.9%**

今年度の実績排出量は、本社で目標値に対し+5.9%増加しましたが、和歌山工場で目標値に対し-1.9%削減出来ました。これらの累積排出量を合計した事業所全体の累積使用量は、目標値に対して-2.0%削減出来ており目標達成となりました。

事業所全体として電力・化石燃料のうちガソリン使用量の排出量が目標値に対し増加しましたが、軽油や灯油の使用量で大幅に削減出来たため事業所全体としては削減する結果となりました。



令和3年度環境経営計画の取組結果とその成果

●水道水の使用量削減



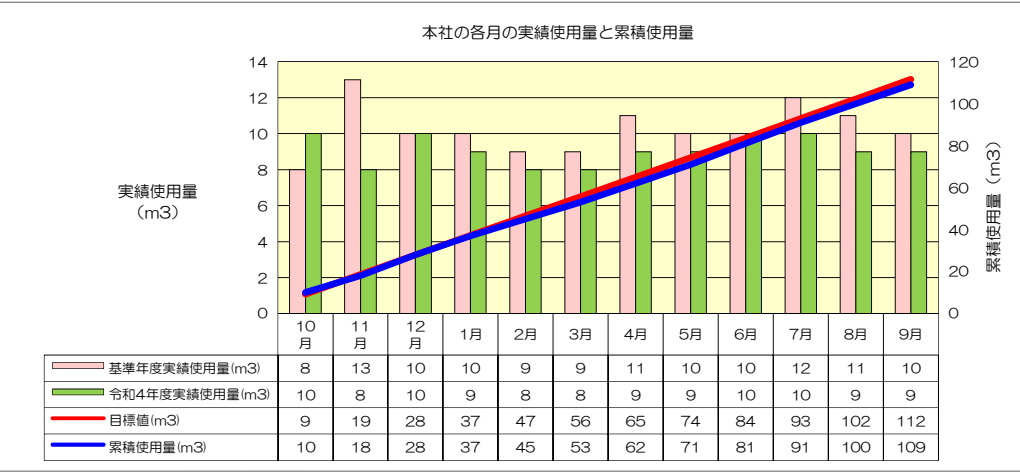
💡 評価基準：実績使用量 (m³)
★環境活動計画（本社・和歌山工場共通）
1. 節水の呼びかけ



水を大切に

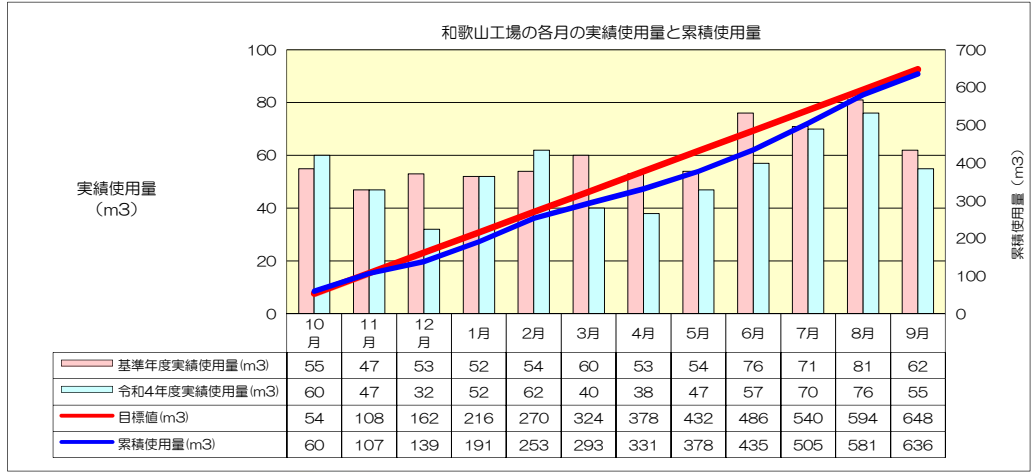
● 本社の活動結果

今年度目標 🍷 : 112 → 今年度実績 🍷 : 109 結果 🍷 : -2.3% 目標達成！



● 和歌山工場の活動結果

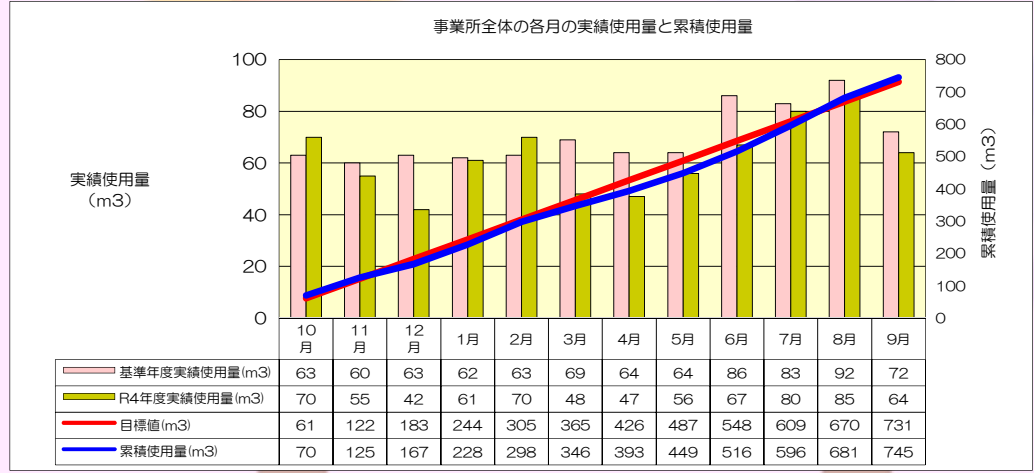
今年度目標 🍷 : 648 → 今年度実績 🍷 : 636 結果 🍷 : -1.6% 目標達成！



● 事業所全体の活動結果

今年度目標 🍷 : 731 → 今年度実績 🍷 : 745 結果 🍷 : -1.9% 目標達成！

今年度の累積排出量は、目標値に対し本社では-2.3%削減でき、和歌山工場でも-1.6%削減でき目標達成出来ました。事業所全体でも目標値に対し-1.9%削減出来ており目標達成出来ました。



令和3年度環境経営計画の取組結果とその成果

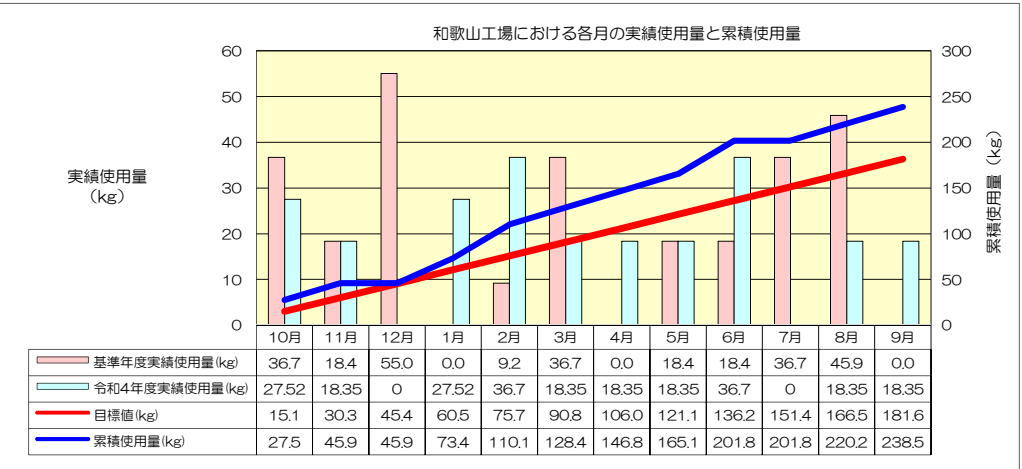
●化学物質の使用量削減



- 💡 評価基準：実績使用量 (kg)
 ★環境活動計画（和歌山工場のみ）
 1. 代替材の使用量拡大
 2. 化学物質の適正管理
 3. 化学物質を大量使用する場合の使用ルール決定

和歌山工場の活動結果

今年度目標 🍷 : 181.6 → 今年度実績 🍷 : 238.5 結果 🍷 : +31.3% 目標未達成



化学物質は和歌山工場では部材に付着した油脂洗浄剤として使用しているため受注案件により増減します。今年度は油脂洗浄案件が多く目標値に対し31.3%と目標達成出来ませんでした。

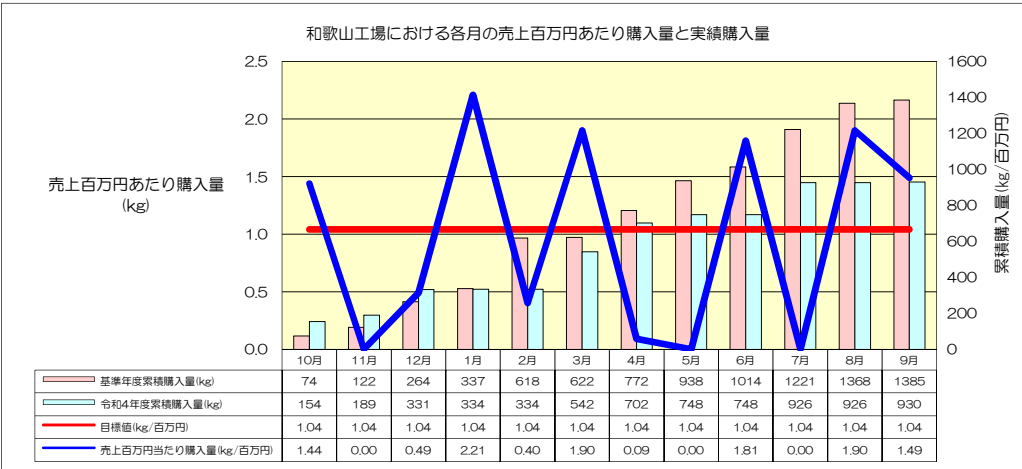
●梱包資材購入量の削減



- 💡 評価基準：売上百万円あたりの排出量 (kg/百万円)
 ★環境活動計画（和歌山工場のみ）
 1. 外注先搬送時への通い台車の利用促進
 2. 梱包の簡素化による使用量低減
 3. 梱包資材のリユース促進

和歌山工場の活動結果

今年度目標 🍷 : 1.04 → 今年度実績 🍷 : 1.03 結果 🍷 : -1.0% 目標達成！



今年度の実績購入量は、目標値に対し97.1%と目標達成出来ました。お客様の外観品質要求が年々厳しくなっておりキズ保護テープの使用量が増加しています。売上百万円あたりの購入量は売上が低迷しているが目標値に対し99%と目標達成出来ました。



令和3年度環境経営計画の取組結果とその成果

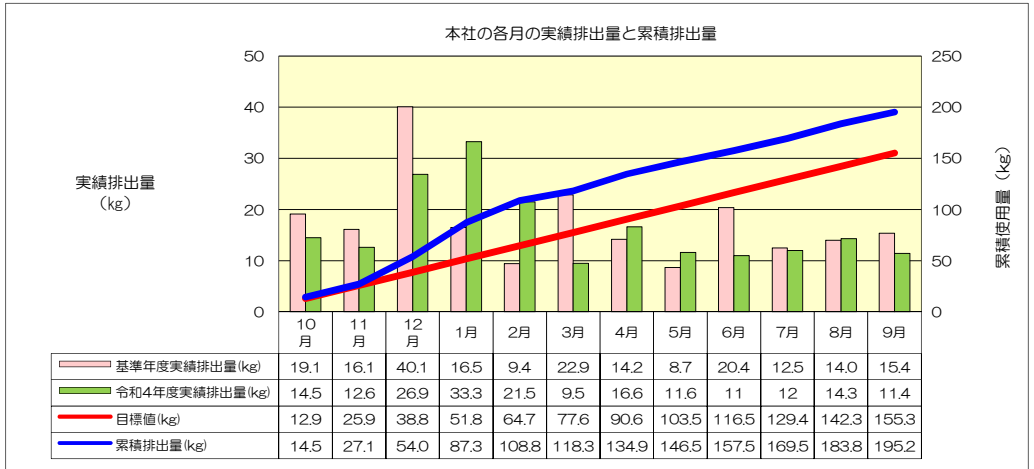
●可燃ごみの排出量削減



- 💡 評価基準：実績排出量 (kg)
 ★環境活動計画（本社・和歌山工場共通）
1. 分別回収の徹底
 2. 1枚ベスト運動の推進
 3. LAN有効活用

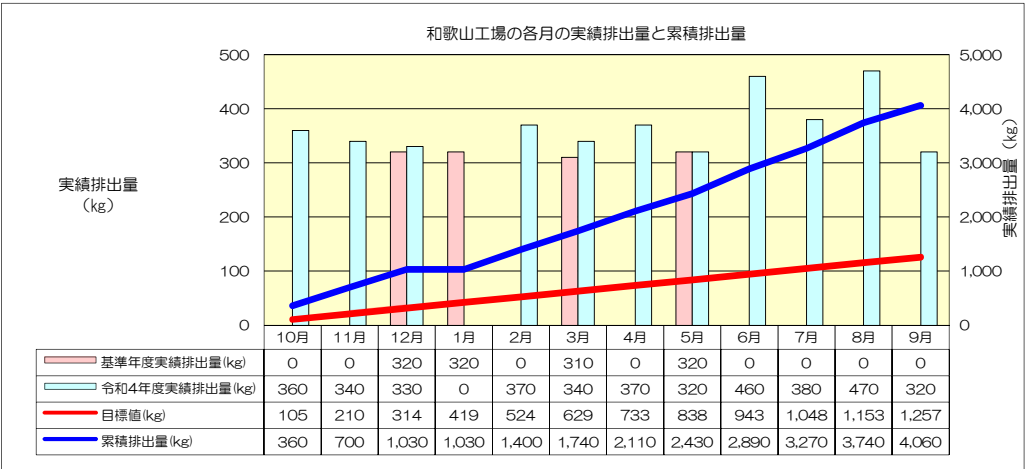
🌻 本社の活動結果 🌻

今年度目標 🗑️ : 155.3 → 今年度実績 🗑️ : **195.2** 結果 🗑️ : **+25.7%** **目標未達成**



🌻 和歌山工場の活動結果 🌻

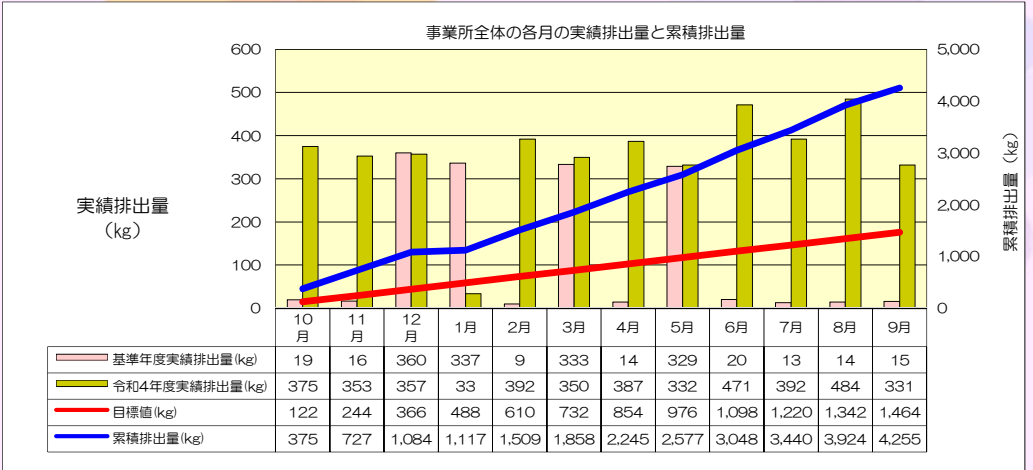
今年度目標 🗑️ : 1,257 → 今年度実績 🗑️ : **4,060** 結果 🗑️ : **+223%** **目標未達成**



🌻 事業所全体の活動結果 🌻

今年度目標 🗑️ : 1,464 → 今年度実績 🗑️ : **4,255** 結果 🗑️ : **+190.6%** **目標未達成**

今年度の目標値に対する累積排出量は、本社で+25.7%、和歌山工場で+223%、事業所全体でも+190.6%と大幅な増加となりました。特に和歌山工場では、3Rの推進をはじめ分別回収の徹底など取組んでいるが増加しています。増加原因の検証が必要ですが、目標値の再設定も必要と考えます。



令和3年度環境経営計画の取組結果とその成果

●混合廃棄物の排出量削減

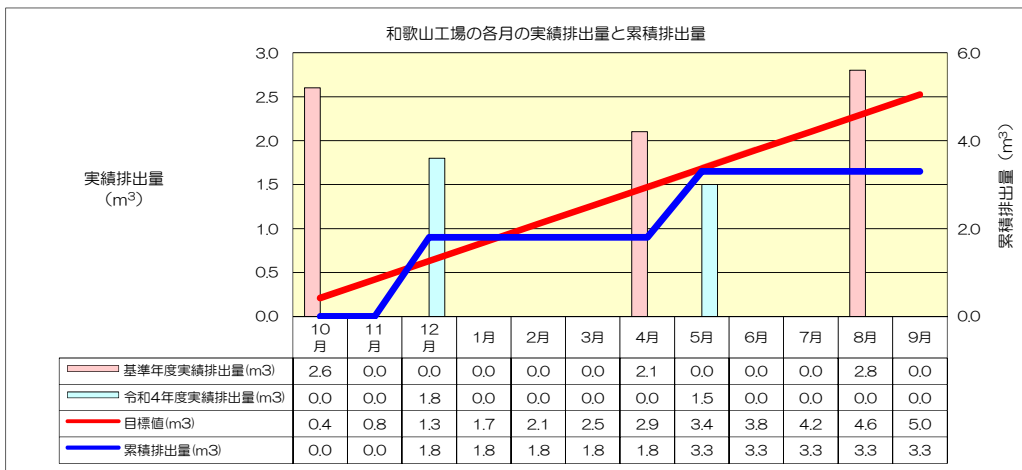


- 💡 評価基準：実績排出量 (m³)
★環境活動計画（和歌山工場のみ）
1. 3Rの推進
 2. 分別の徹底
 3. サンダーディスクの長寿命化



和歌山工場の活動結果

今年度目標 🗑️ : 5.0 → 今年度実績 🗑️ : 3.3 結果 🗑️ : -34.7% 目標達成！



今年度も排出時の内容物を確認しスプレー缶等の不燃物の他、ステンレス用の溶接棒の空容器等のプラスチック製品もあります。
今年度の排出量は目標値に対し65.3%と目標達成出来ました。

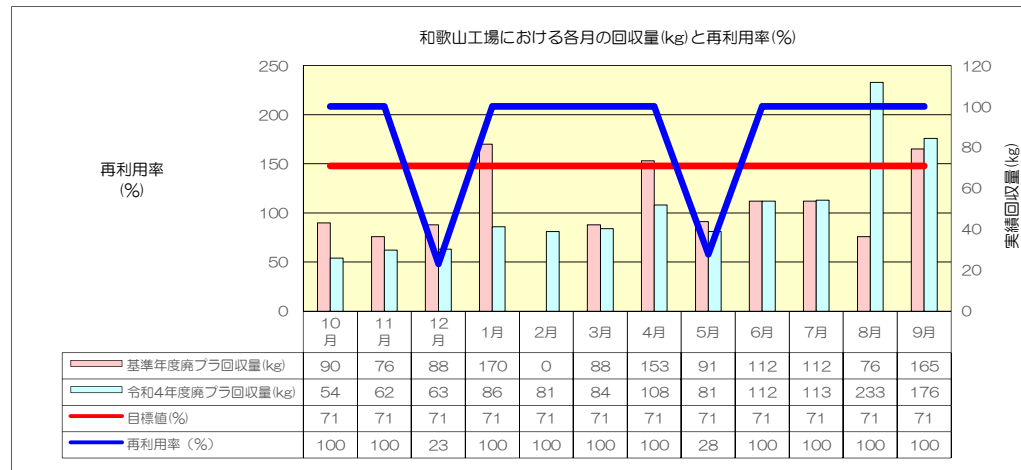
●廃プラスチックの排出量削減



- 💡 評価基準：再利用率 (%)
★環境活動計画（和歌山工場のみ）
1. 保護テープ以外のキズ防止策による使用量削減
 2. キズ防止策の構築

和歌山工場の活動結果

今年度目標 🗑️ : 71.0 → 今年度実績 🗑️ : 74.9 結果 🗑️ : 目標達成！



今年度の廃プラスチックとしての排出機会はなく、混合廃棄物の排出後、選別された廃プラスチックで12月と5月の2回計上され累積で420kgありました。
一方、累積回収量は1,253kgで再利用率は74.9%と目標値より3.9ポイント増加し目標達成出来ました。
今後、ワイヤースプールの排出があるため回収頂ける業者様を探します。

●再加工材料費の削減

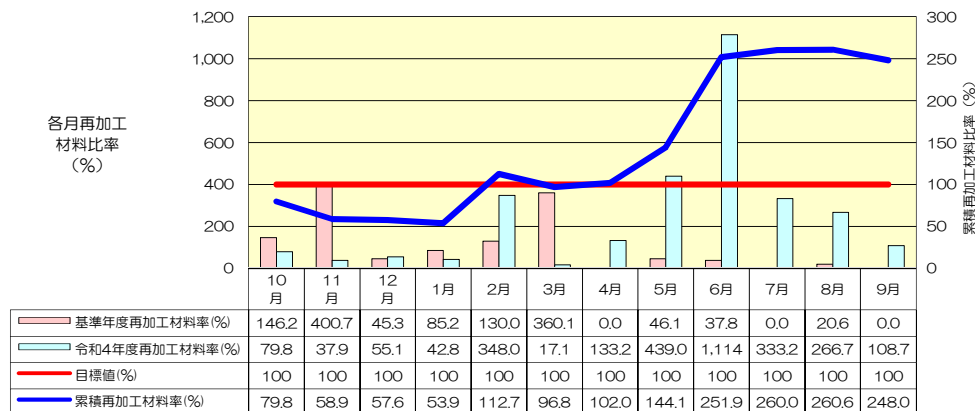


- 💡 評価基準：金額指標（％）
 ★環境活動計画（和歌山工場のみ）
 1. 素材の歩留まり向上
 2. 加工ミスによる素材損出の削減

和歌山工場の活動結果

今年度目標 🍷: 100 → 今年度実績 🍷: 148 結果 🍷: 48ポイント悪化 目標未達成

各月の再加工材料比率と累積再加工材料比率（％）



今年度の再加工材料費は目標値に対し248%と大幅な増加となり目標達成出来ませんでした。材料高騰による高止まりも影響していますが、リピート物件での不良や大型物件の全数アウト発生が原因の一つです。また、不良発生時の品質異常速報作成の徹底することで再加工で使用する材料が明らかになってきていることも要因です。

～未来のこどもたちのために～

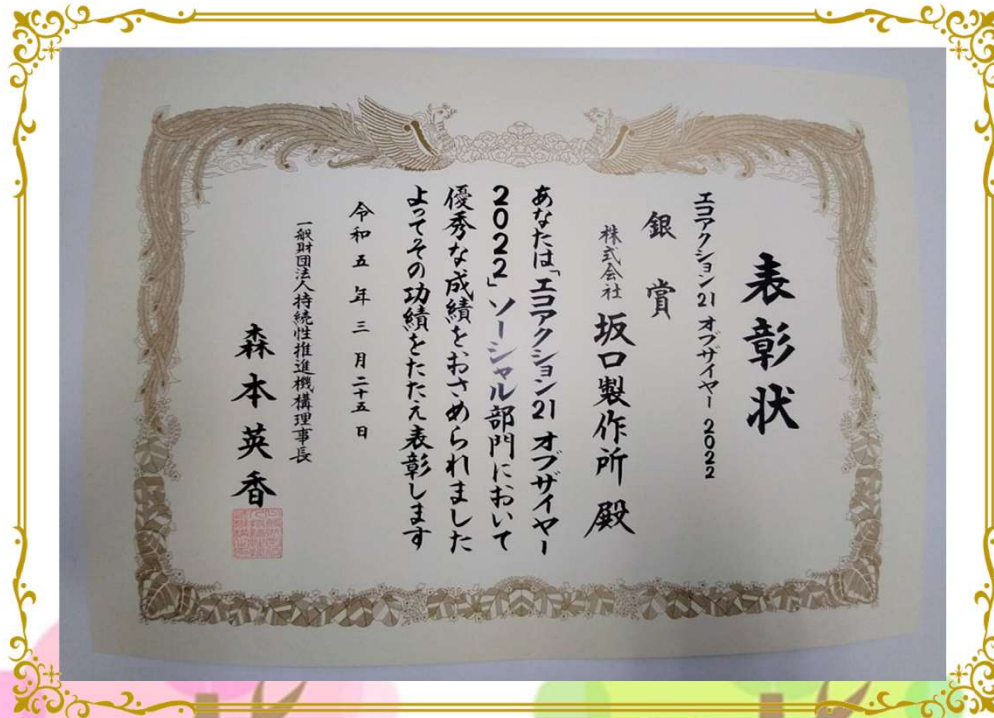
項目	年度	基準年度 (令和元年度) 実績	令和4年度		令和5年度 目標	令和6年度 目標
			目標	実績		
二酸化炭素 排出量削減	電力使用量の削減 (kWh/百万円)	531.9	505.8	522.5	500.6	495.2
	絶対量 (kWh)	544,695	504,109	506,917	498,396	492,949
	基準年度比	100%	-4.9%	-1.8%	-5.9%	-6.9%
	① kg-CO ₂	173,213	160,307	161,200	158,490	156,758
	〇ガソリンの使用量削減 (L)	10,397	8,471	8,749	8,366	8,262
	基準年度比	100%	-18.5%	-15.9%	-19.5%	-20.5%
	② kg-CO ₂	24,139	19,667	20,312	19,424	19,182
	〇軽油の使用量削減 (L)	2,106	1,661	1,357	1,640	1,619
	基準年度比	100%	-21.1%	-35.6%	-22.1%	-23.1%
	③ kg-CO ₂	5,526	4,360	3,560	4,306	4,249
	〇灯油の使用量削減 (L/日)	236.8	213.5	198.5	211.2	208.9
	絶対量 (L)	20,606	19,843	17,683	19,637	19,431
化石燃料の削減	基準年度比	100%	-9.8%	-16.2%	-10.8%	-11.8%
	④ kg-CO ₂	51,347	49,448	44,064	48,934	48,421
	①+②+③+④ kg-CO ₂	254,225	233,782	229,136	231,154	228,610
	基準年度比	100%	-8.0%	-9.7%	-9.1%	-10.1%
排水量の削減	〇水道水の使用量削減 (m ³)	841	731	745	722	714
	基準年度比	100%	-13.1%	-11.4%	-14.1%	-15.1%
化学物質の削減	〇化学物質の使用量削減 (kg)	275.2	181.6	238.5	178.9	176.1
	基準年度比	100%	-34.0%	-13.3%	-35.0%	-36.0%
製品への環境配慮の推進	〇梱包資材の購入量削減 (kg/百万円)	1.35	1.04	1.03	1.03	1.01
	絶対量 (kg)	1,385	1,028	998	1,014	1,000
	基準年度比	100%	-23.0%	-23.7%	-24.0%	-25.0%
廃棄物の削減	〇可燃ごみの排出量削減 (kg)	1,479	1,464	4,255	1,449	1,435
	基準年度比	100%	-1.0%	+187.7%	-2.0%	-3.0%
	〇混合廃棄物の排出量削減 (m ³)	7.5	5.1	3.3	5.0	4.9
	基準年度比	100%	-32.7%	-56.0%	-33.7%	-34.7%
	〇廃プラスチックの排出量削減 (％)	61.3	71.0	74.9	71.6	72.2
	絶対量：排出量 (kg)	770	—	420	—	—
	絶対量：回収量 (kg)	1221	—	1253	—	—
剰余材の有効利用	基準年度比	100%	+15.8%	+22.2%	+16.8%	+17.8%
	〇再加工材料費の削減 (金額指標)	100	40.1	99.5	40.1	40.1
	基準年度比	100%	-59.9%	-0.5%	-59.9%	-59.9%

～未来のこどもたちのために～

今年度は3ヶ年計画の3年目に当たりますが、全ての項目で目標達成できず力及ばずでした。目標達成出来なかった項目は、原因の検証と対策を検討し新たな3ヶ年計画を策定します。私たちは、これからも「未来のこどもたちのために」「未来の地球環境を守るために」エコアクション21活動を続けて参ります。



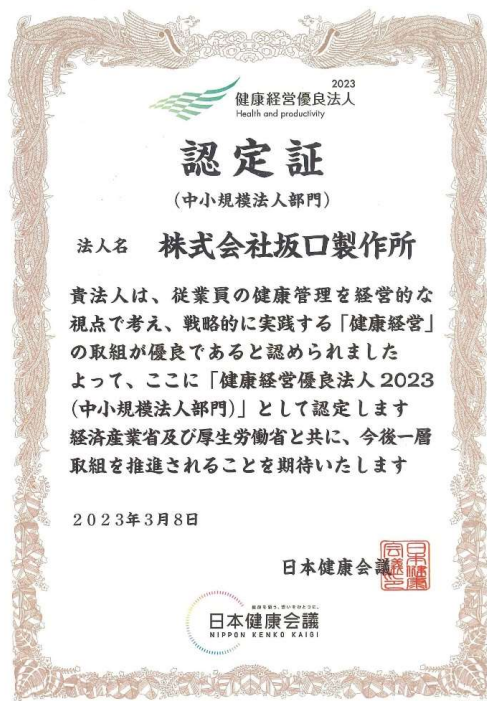
エコアクション21 オブザイヤー2022 銀賞



『エコアクション21 オブザイヤー2022』は、環境経営レポート及び社会課題解決につながる取組（地域への積極参加、働き方など）を顕彰することで、脱炭素社会の実現、SDGsの達成に向けた中小企業における多様な取組を国内に広く発信するとともに、こうした動きを加速化させることを目的としたものです。坂口製作所は「地域に若者を！廃校になった小学校を独身寮として活用するプロジェクト」というタイトルでソーシャル部門にエントリーし、銀賞に選ばれました。3月25日、TKP 品川カンファレンスセンターで開催された表彰式に出席しました。



健康経営優良法人に認定



令和5年3月10日

健康経営優良法人2023（中小規模法人部門）に認定されました。
弊社は2018年から本認定を取得しており、6年連続での認定となります。



サークル活動

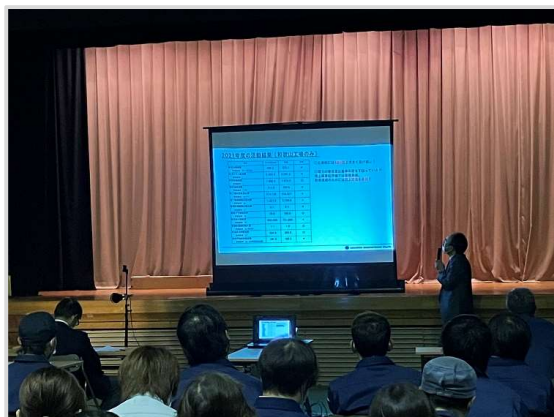


令和5年4月10日

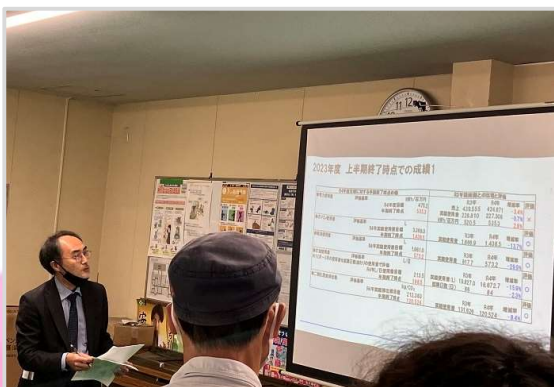
本当は4月8日に釣りに行く予定でしたが、雨の関係で行く日が4月10日に変更になりました。
10日は釣り日和になって良かったです。
カンパチやシマアジ・タイなどが釣れました。



エコアクション活動の中間報告と結果報告の実施



第40回QC報告会



第41回QC報告会

毎年11月にエコアクション活動の前年度報告と今年度目標の報告を、5月に中間報告をQC活動報告会と併せて実施しています。11月に開催された第40回QC活動報告会は和歌山工場の近くにある「しみず会館」にて、5月の第41回QC活動報告会は和歌山工場の食堂で実施しました。



本社新入社員による和歌山工場での実習



令和5年5月8日から12日と5月15日から19日の2週間にわたって、本社新入社員2名による和歌山工場の現場実習を行いました。それぞれの期間に1名ずつが参加し、曲げ加工や溶接などひと通りの現場作業を体験しました。



移住就業支援拠点施設「しろにし」オープン



令和5年5月8日

有田川町移住就業支援拠点施設「しろにし」（有田川町二川、TEL 0737-23-88881）が完成しました。運営は、林業事業体「竹上木材」（楠本）と坂口製作所（大阪市）の出資で設立した一般社団法人「しろにし」です。
この施設は、2017（平成29）年に休校した城山西小学校の校舎を大規模リノベーションした拠点施設です。6月2日から本格オープンし、当日は大雨のため予定していた餅投げが中止となりましたが、6月3日に地域の方々を対象に餅投げを開催することができました。
「しろにし」は、移住者と地域事業者、地域住民がつながる拠点（ハブ）として地域での新しい暮らしを提供します。





西成しごと博物館



令和4年11月6日

西成には機械や製品、おいしいものを作っている会社やスゴ技を持っている会社がたくさんあります。西成区や近隣の子もたちにそんな地元の企業で働く人たちの姿や製品を見てもらい、技術の高さやよく知られる製品のルーツを知り、地元への愛着と誇りを強めてもらうことを目的に西成区と大阪府中小企業家同友会西成住之江支部が連携して行われるイベントです。弊社は「金属製のフォトフレームを作ろう!!」というテーマの金属加工の仕方を学んでもらい、アルミ製のフォトフレームを作ってもらいました。



工場見学の受け入れ



3年生3名と先生2名が和歌山工場の見学に来てくれました。最初に工場長の説明を聞き、場内を見学しました。板金課ではNCTの動きを興味深く覗き込み、組立課では鋸打ち体験をし、大きな音にびっくりしていましたが、上手に打つ事が出来ました。最後にネーム入りのキーホルダーをお土産にもらってヤッター！と声を出して喜んでいました。



インターンシップの受け入れ

拝啓
時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
さて、この度はお忙しい中、インターンシップに参加させて頂いていただき、誠にありがとうございます。
三日間という限られた時間ではありますが、会社で社員さんはどんなことをしているのかや敬語を使うこと、物事に対して真剣に取り組むことの大切さを学ぶことができました。
この体験を活かし、今後の進路選択に繋げていきたいと思っています。
本当にありがとうございました。

令和五年六月二十三日

敬具

本社は、令和5年6月7日から9日までの3日間、西成高校の生徒1名がインターンシップに来てくれました。
工数入力や部品の仕分け、CAD等の作業を体験してもらいました。
3日間ともしごくまじめに、そして楽しそうに作業してくれて良かったです。



和歌山工場では、9月19日から21日までの3日間、有田川町にある3社合同で阪南大学生のインターンシップを受け入れました。宿泊先はしるにして2泊3日の工程で、初日は竹上木材(株)様で林業体験を、2日目は弊社で製造業を、3日目は(株)中屋組様で建設業を体験頂きました。
2日目夜は宿泊先のしるにして3社合同でBBQ大会をし、学生さんたちに3社が混ざりお大盛り上がりでした。



第1回ありだがわ楽市に参加しました



令和4年11月20日

有田川町で開催された「第1回ありだがわ楽市」に参加しました。町内60以上の事業所・団体が出展・出店、有田川町のおいしいもの、素敵なモノ、貴重な体験をしていただけるイベントです。坂口製作所は、アルミで製作したゾウやキリンなどのオブジェ、板金加工のコンクールで上位入賞を果たしたサッカーボールやトランク・キャンピングカーなどを展示しました。また試作開発した自動車のキーケースも、その場でご購入いただきました。当日はたくさんの方にご来場いただき楽しいイベントとなりました。



エコキャップと古切手の提出



小さなキャップも分ければ資源 エコキャップ収集活動

株式会社坂口製作所の方々が、今年も当会清水事務所にエコキャップ19,340個を届けてくれました。坂口製作所では『エコアクション 21』という可燃ごみの排出量削減や排水量の削減などの取り組みの一環としてエコキャップ収集活動を行って続けています。収集にご協力いただいた職員・地域の皆さま、ありがとうございました。

この他にも、地域の皆さまから多くのエコキャップが当会各事務所に持ち寄られています。これからも、誰でもいつでも始められる「ちょいボラ」に、ご協力よろしくお願いいたします。



【お問合せ】有田川町住民活動センター（有田川町社会福祉協議会内）☎0737-23-8800

広報誌「社協有田川」に記事を掲載いただきました

令和5年3月15日

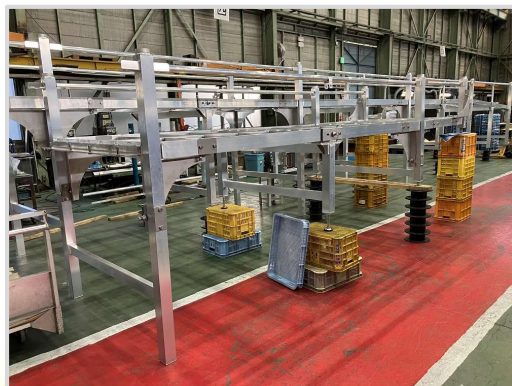
QCサークル「インスペクト」の活動で回収したエコキャップを工場長と平林室長で有田川町社会福祉協議会清水事務所に提出しました。社会福祉協議会様では毎月発行されている広報紙「社協有田川」に、弊社のエコキャップ活動を掲載して頂いており従業員の家族様をはじめ地域の皆様からもたくさん集めてくださり、弊社従業員まで届けて頂く機会が増えました。今回は19,340個と初めて古切手を提出しました。引き続きエコキャップと新たに古切手（郵送で届いた消印の押した切手）を工場の方で回収していますので皆さんご協力宜しくお願いします。



得正寺の舞台交換工事



常設されていた架台



和歌山工場での製造



5月14日の会式



令和5年5月14日

得生寺は有田市東部にある浄土宗西山派の末寺。琴の名手で天皇から三位の位と中將の名を賜った中將姫ゆかりのお寺です。その昔、姫の名声をねたんだ継母が伊藤春時に殺害を命じます。が、姫の徳に打たれた春時は、逆に剃髪し、名を得生と改め姫を守ります。このことが名の起こりといわれます。姫がハスの糸で織った浄土曼荼羅図などの寺宝も、予約しておけば拝観できます。また、毎年5月14日には、中將姫が極楽浄土に旅立つ様子を表した中將姫来迎大会式[らいごうだいえしき]が盛大に行われ、この会式で使用されていた架台がお寺の境内に常設されていましたが、組立時の作業軽減と会式時のみ組立てられるようにと依頼され、弊社で作成いたしました。



新聞に記事を掲載していただきました



工場見学バスツアーの開催



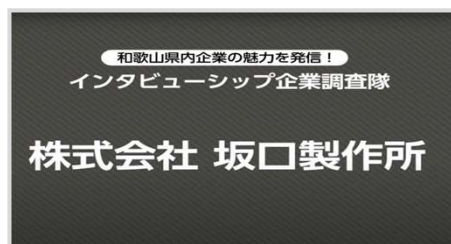
令和5年5月23日付の鉄鋼新聞にて「現場を歩く」のコーナーで和歌山工場を取り上げていただきました。第二工場のことや独身寮「しろにし」のことなど坂口製作所のことをすごく詳細に書いていただいています。

令和5年4月21日

3回目となる工場見学バスツアーを行いました。当日は17名の方が参加され、お客様からは「参加してよかった」「坂口製作所のことがとてもよく理解できた」等のお声をいただいています。4回目は今年の秋ごろを予定しています。



ジョブカフェわかやまのインタビューがWEB発信されました



令和4年12月16日から、Youtubeジョブカフェわかやまの「企業調査隊が行く わかやま働コーナー」に社長・工場長・地職君のインタビューを掲載して頂きました。
「わかやま働コーナー」とは、地域の中小企業への理解を深めていただくことを目的に、県内大学の学生レポーターによる企業取材を行い、県内企業の魅力をWEBで発信しているものです。
インタビューの様子は下記からご覧いただけますので、ぜひ下記URLにて見てみてください。

Youtube

<https://www.youtube.com/watch?v=qw1oFOS4wpQ>

JOBカフェわかやま

<https://www.jobcafew.com/jobcafe/wakayamahataraconer/sakaguchi-ss/>



和歌山放送ラジオのインタビューを受けました



令和5年1月31日

和歌山放送ラジオの『わんだーらんの全開！火曜日』という番組で、坂口製作所のことをご紹介いただきました。和歌山県住みます芸人の「わんだーらんど」のお二人に和歌山工場までお越しいただき、社長、工場長、地職君がインタビューに答えました。

環境関連法規制等の取りまとめ

本社及び和歌山工場共、環境関連法規制等への違反はありません。また、関係当局により違反等の指摘及び近隣住民からの苦情は過去3年間ありません。

環境関連法規制の名称	該当する要求事項	該当する設備・項目
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	・委託契約書	・混合廃棄物の委託管理 ・廃油の委託管理
	・保管基準	
	・産業廃棄物管理票の発行と保管	
	・産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出	
	・特別管理産業廃棄物管理責任者の選任	
騒音規制法	・特定施設設備の届け出	・液圧及び機械プレス、せん断機、コンプレッサー等
	・基準値（65db）の遵守	
振動規制法	・特定施設設備の届け出	・液圧及び機械プレス、せん断機
	・基準値（65db）の遵守	
フロン排出抑制法	・廃棄、修理時の回収義務	・業務用エアコン、スポットクーラー
	・簡易定期点検、定期点検の実施及び記録	
浄化槽法	・浄化槽の保守点検実務	・浄化槽
	・年1回の浄化槽定期点検実務	
消防法	・少量危険物貯槽所の届け出	・灯油、塗料、シンナー貯蔵取扱い、火災報知器、消火器
	・保管量の遵守	
	・消防施設点検と報告	
	・防火管理者の選任	
毒物劇物取締法	・施錠、劇物表示、飛散漏れ防止	・洗浄剤
特定化学物質障害予防規則	・第二類物質、第三類物質	・溶接ヒューム、マンガン及びその化合物、呼吸用保護具



環境経営目標・環境経営活動計画の変更の必要性：あり

- 一般廃棄物の削減については、廃棄物の内容を評価した上で改めて対策を検討すること。場合によっては目標値の設定も見直すこと。
- 再加工材料費や梱包資材の購入量については、単価の上昇も加味した目標設定を検討いただきたい（※金額評価だと経年の評価が難しくなるため）。
- いずれにせよ売上原単価評価の項目の目標達成のためには、売上確保が必須となる。次年度は環境目標達成のためにも、売上予算の必達をお願いする。



その他変更の必要性：あり

- 事務局の運営については引き続き役割分担を見直し、負荷の分散を進めること。
- スコープ1、2、3の把握や、カーボンフットプリントについても社内でどんな対応ができるのか検討を進めること。
- その上で、年間を通じた活動の核になるような大きなテーマ設定も検討してはどうか？
- 環境活動を本来の経営活動にどう生かすのかも、会社として検討していきたい。



総括

- 今年度はエコアクション21オブザイヤー銀賞を受賞するなど、改めて坂口の環境活動が評価された一年だったと思います。次年度も環境活動、SDGsへの取組の先駆者として、自信を持って活動に取り組みましょう。
- 一方で、経営面では材料費の高騰を背景に、厳しい状態が続いています。次年度は売上予算の必達はもちろん、経費の削減にも取り組んでいただきたい。再加工材料費を減らすこと、無駄な作業を無くして無駄なエネルギー消費を抑えることは、自社の経営のみならず、環境にも優しい取組であることを今一度社員全員で共有しましょう。